

米国シェール・オイル／ガスの逆襲

～ホルムズ海峡危機と AI 電力需要が変える LNG・原油市場の勢力図～

— 講師 — 和光大学 経済経営学部 教授／石油技術協会 資源経済委員会 委員長 岩間 剛一 氏

日 時 2026 年 1 月 2 6 日 (木) 午後 1 時～ 4 時
受講方法 ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)

〔重点講義内容〕

トランプ大統領の当初の思惑とは異なり、米国とイラン戦争の終わりが見えず、石油と LNG (液化天然ガス) 輸送の要衝といえるホルムズ海峡における事実上の封鎖が長期化している。中東産原油、石油製品、LNG (液化天然ガス) の地政学リスクが高まるとともに、地政学リスクが小さく、生産量も多い米国のシェール・オイル、シェール・ガスへの期待が強まっている。21 世紀の重要なエネルギーは、改めて石油と天然ガスであると評価され、シェール・オイルの開発も活発化している。日本企業も、三菱商事、JERA、丸紅、東京ガス、大阪ガス、静岡ガス等が、相次いでシェール・ガスの権益を取得し、LNG としての輸出、米国内の AI 向け天然ガス火力発電等、多様なシェール・ガス利用を構想している。三菱商事によるエーソンの買収は、1 兆 2,000 億円と総合商社史上最高額となっている。

地球温暖化はないと考えるトランプ大統領は、米国におけるシェール・ガス、シェール・オイル生産を積極的に後押ししている。原油生産量、天然ガス生産量の増加は、米国のエネルギー・コストを引き下げ、原油輸出、シェール・ガスを原料とした LNG の輸出拡大を通じて、米国の貿易収支を改善する。米国によるエネルギー・ドミナンス (国際エネルギー市場の覇権) が始まっている。AI の普及による電力需要の増加に関連して、シェール・ガスを原料とした天然ガス火力発電の増強も計画されている。三菱重工業は、ガス・タービンの受注が過去最高を記録し、米国のメジャー (国際石油資本) のエクソンモービルとシェブロンは、シェール・ガスを燃料とした天然ガス火力発電所を建設し、送電システムを利用せずデータ・センターに直接電力を供給し、新たな事業展開をはかっている。

国際エネルギー情勢を震撼させたロシアによるウクライナ侵攻から 5 年近くが経過していることも、米国のシェール・オイル、シェール・ガスに追い風となっている。2023 年には米国からの LNG 輸出は、豪州、カタールを抜いて世界最大となった。フランス、スペイン、英国等は LNG 輸入量を増加させ、ドイツも LNG 輸入を開始した。欧州諸国は、従来は年間 1 億 1,400 万トン (LNG 換算) の天然ガスをロシアからのパイプラインにより輸入していたものの、その分の LNG 特需が発生している。米国のシェール・オイルは、バイデン前政権による脱炭素政策にもかかわらず、生産量は増加を続け、米国の LNG についても、輸出が好調で、新規プロジェクトが相次いで計画され、2030 年には輸出能力が現在の 2 倍近くとなる。LNG の買い手が十分にあり、バイデン政権による新規 LNG プロジェクトの許可凍結をトランプ政権が解除し、2025 年以降に多数の FID (最終投資決定) が行われた。

米国のシェール・ガス、シェール・オイルは、①脱ロシア産石油・天然ガスを目指すうえで、同じ価値観をもつ民主主義国家からのエネルギーであること。②米国は、シェール・ガス革命、シェール・オイル革命を経て、世界最大の原油生産国、天然ガス生産国となり、ホルムズ海峡封鎖を埋める海外への供給ポテンシャルが極めて大きいこと。③米国産 LNG は、仕向け地条項がなく、LNG の需給状況によって、割高な地域に転売して、ディーリング益を挙げることができること。等のメリットを持っている。欧州諸国に加えて、アジア諸国は、今後の経済成長と炭酸ガス排出削減の両立をはかるために米国のシェール・ガスを原料とした LNG とシェール・オイルが必要となる。カタールの LNG 施設は、イランの攻撃を受け、生産能力増強には長い時間を必要とし、米国の LNG への期待が極めて強い。日本政府も、アジアへの LNG の安定供給を目的に、出資・債務保証を JOGMEC が行う。しかし、米国においては、脱炭素への動き、金融市場における株主還元圧力もあって、シェール・オイル生産へのリグ (新規油田開発のための掘削装置) 稼働数の増加への動きは鈍い。シェール・オイル開発のためのリグ稼働数も 2026 年 10 月 2 日時点において 598 基と 1,500 基を超えていたシェール・オイル開発の活況期を大幅に下回る。しかし、原油価格の高騰と AI を活用した 1 井戸当たりの生産効率の向上により、2026 年 4 月時点において日量 1,398 万バレルと米国の原油生産量は過去最高を記録している。ホルムズ海峡危機の長期化を受け、米国のシェール・ガス開発、シェール・オイル開発は今後どうなるのか。中間選挙を経てトランプ政権のもと、2027 年冬以降の国際 LNG 価格はどうか。日本にとっての LNG プロジェクトに係わる事業戦略はどのように成長するのか。シェール・ガス革命、シェール・オイル革命の第一人者が分かりやすく今後の見通しを詳説する。

1. シェール・ガス開発の最新動向 一過去最高の生産量と AI による電力需要
2. トランプ政権の反脱炭素とイラン危機の今後の見通し 一米国中間選挙
3. 世界における LNG 市場の可能性 一カタールの生産能力損傷
4. 米国における天然ガス生産量の動向と 2027 年の見通し 一生産量の増加
5. 欧州における天然ガス市場の変貌と今後の見通し 一脱ロシア
6. アジア大洋州における LNG 市場の現状と今後の見通し 一価格高騰
7. 米国における LNG 輸出プロジェクトの新たな動き 一輸出能力増強
8. 日本企業が参画する LNG プロジェクトの可能性とシェール・ガス権益取得
9. トランプ政権の化石燃料促進政策とシェール・オイル企業の新規投資動向
10. 米国におけるシェール・オイル開発の最新動向と技術革新の動き 一 AI 活用
11. 米国国内における原油生産動向と 2027 年の見通し 一株主還元の圧力
12. 米國中堅石油企業の経営状況と資金調達 一財務の健全性と M&A への動き
13. シェール・ガスによる CCS への動きと LNG 船開発の動き
14. 米国におけるシェール・オイル企業の実力評価 一技術革新と資機材価格高騰
15. 欧米メジャー (国際石油資本) によるシェール・オイル開発の今後
16. 日本企業による新たなシェール・ガス権益、シェール・オイル権益取得の動き
17. シェール・ガス革命による LNG 価格の今後の見通し 一国際 LNG 需給
18. シェール・オイル革命による 2027 年の原油価格の見通し
19. 日本企業のとるべき 2027 年における最適な事業戦略
20. 質疑応答

PROFILE 岩間 剛一 (いわま こういち) 氏

1981 年 東京大学法学部卒業。東京銀行(現三菱UFJ銀行)入行。東京銀行本店営業第 2 部部長代理(資源エネルギー融資、経済産業省担当)。東京三菱銀行本店産業調査部部長代理(資源エネルギー調査担当)。出向:石油公団企画調査部:現在はエネルギー・金属鉱物資源機構(資源エネルギー・チーフ・エコノミスト)。出向:日本格付研究所(チーフ・アナリスト:ソブリン、資源エネルギー担当)。

2003 年から和光大学経済経営学部教授。

著書:「資源開発プロジェクトの経済工学と環境問題」、「ガソリン本当の値段」、「石油がわかれば世界が読める」、その他、新聞、雑誌等への寄稿、テレビ、ラジオ出演多数。

- 受講料 各受講方法 1名につき 35,200円(税込)
同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 27,500円(税込)
※ライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。
- お申込方法 二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。
折り返し受講証、請求書をメール(PDF)にてお送り致します。
お申込み後、3 営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。
※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。
その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
- お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。

可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信下さい。

■ライブ配信について

<1>Zoom にてライブ配信致します。

<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までに送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加下さい。

■アーカイブ配信について

<1>開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。

<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用URLをお送り致します。

<3>動画は公開日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

11月26日(木)

「米国シェール・オイル／ガスの逆襲」

申込日 月 日

貴社名

所在地

〒

○印をお付けください (ご自宅・お勤め先)

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

☐ ライブ配信

☐ アーカイブ配信

フリカ`ナ
氏名

所属部署・役職

T E L

()

—

F A X

()

—

E-mail

ブロック体でのご記入をお願いいたします。

いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つ☑をお入れ下さい。)

☐ ライブ配信

☐ アーカイブ配信

フリカ`ナ
氏名

所属部署・役職

T E L

()

—

F A X

()

—

E-mail

ブロック体でのご記入をお願いいたします。

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄

●E-mail アドレス登録受付 & ご紹介キャンペーン実施中[Amazon ギフト券(500円)を進呈いたします]

☐ セミナーへのお申込みではなく、メール配信登録のみの方は左記へ✓を入れて下さい。

※携帯アドレス、フリーメールアドレスは登録対象外となっております。

※メール配信登録をご希望の方をご紹介下さい！ご紹介いただいた方には Amazon ギフト券(500円)を進呈させていただきます。

※上記お申込フォームに、ご登録情報(貴社名・所在地・氏名・所属部署・役職・メールアドレス)をご記入下さい。

詳細・お申込はこちら↓

■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階

Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26645-E

